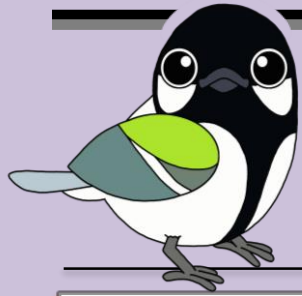


しじゅうから



小鳥の森で観察してみよう 123

コサメビタキ

分類 スズメ目 ヒタキ科

大きさ 13cm

鳴き声 チピ チュプチピ
キキチピチュク

小鳥の森でよく見られる時期
・4月～9月ごろ

小鳥の森で見られる場所
・小鳥の森園内全域



すがわら りんさんが描いてくれました

6月 森のここに注目

カエルのそっくりさん

梅雨の気配が顔をのぞかせる6月。今年も、どこからともなくあの生き物たちの声が聞こえてきました。この時期おなじみのカエルの季節です。

今回は、一度は目にしたことあるニホンアマガエルと、ニホンアマガエルによく似ているシュレーゲルアオガエルの見分け方を紹介します

ニホンアマガエルは水田や森林だけでなく、人家の庭など幅広い場所に住んでおり、樹の上を好みます。また、自分のいる環境に似た色に体の色を変化させることができ、「グエッ、グエッ」と大きな声で鳴きます。

一方でシュレーゲルアオガエルは水田や森林に住んでいて、日中は土中などに身を隠しています。鮮やかな緑色をしており、甲高く「コロロ、コロロ」と鳴きます。

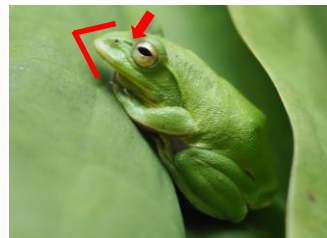
カエルが鳴いていたら、声をたどって探してみるのも面白いですよ。



ニホンアマガエル

<ニホンアマガエルの特徴>

- ・鼻、目、耳にかけての黒っぽいスジがある
- ・横顔の輪郭が丸みをおびる



シュレーゲルアオガエル

<シュレーゲルアオガエルの特徴>

- ・鼻、目、耳にかけて黒っぽいスジがない
- ・横顔の輪郭が尖っている

シジュウカラ 卵あため開始！

5月の初め、晴れやかな日が続きました。そんな暖かな日に温かいニュースが小鳥の森に舞い込みました。なんと、今年は諦めかけていたネイチャーセンターの壁にかけている巣箱の利用と産卵を確認することができたのです！過去2年間にはヤマガラが巣箱に入り、3月の下旬には卵が確認されていました。今年はシジュウカラが1か月以上も遅い5月2日に産卵を迎えました。シジュウカラが一度に産む個数は7～10個といわれていますが、今年は7個でした。

大幅に遅れての子育てのスタートとなりましたが、これからのヒナの誕生と成長を見届けることが楽しみです。



スタッフだより

夜の野鳥観察のススメ

夜の野鳥観察ですって？真っ暗闇で鳥が見られますか？いえいえ、見るのではなく、「聞く観察」です。

毎年5月から6月にかけて、南からやってくる渡り鳥の中に「ホトトギス」がいます。自分では巣作りや子育てをせず、違う種類の野鳥の巣に卵を産み、仮の親に育ててもらう（托卵（たくらん）と呼ばれる）一風変わった習性の持ち主です。このホトトギスですが、他の鳥と同じく日中も鳴きますが、夜になって暗くなっても空を飛びながら鳴くのです。昔から夜に鳴くホトトギスのことは良く知られていて、民話などにも登場します。その鳴き声は特徴的でホトトギスでは、「テッペンカケタカ」や「東京特許、許可局（トウキョウ、トッキョ、キョカキョク）」と表現できます。また福島では「ボッド、オツァケタ」とも言うそうですよ。

さあ、今年は夜になったら少し窓を開け、ホトトギスの声を聞いてみてはいかがでしょうか？

アシスタント・レンジャー弦間一郎

イベント報告

バードウィーク特別企画
「鳥・とり・TORI」

5月15日（日）、バードウィークに合わせて、野鳥に親しむイベント「鳥・とり・TORI」を開催しました。

当日は、竹の巣箱づくりやクイズラリー、バードウォッチングなどのプログラムを実施しました。

巣箱づくりでは、普段使わないノコギリを使用し、親子で協力し合いながら使う様子も見られました。また、散策路に設置した野鳥に関するクイズラリーでは、緑の森の中をのびのびと歩きながら問題を解く方々もいました。

天気にも恵まれ大盛況の催しとなりました。



* 小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧ください。

* 園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2022年6月号№434／企画・発行：福島市小鳥の森／NPO法人野鳥の会ふくしま